

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	63	決定事項のみ理解している職員も多く、「意味」への理解が不足している。その為、ご家族様へ連絡を行う際、質問された時に答えられないケースや、間違っただけの申し送りが回っていても、間違っただけの事に気づかず申し送りが回ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい情報を把握、共有</li> <li>お客様が納得、理解できる説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「意味」を理解する</li> <li>「何故？」と思えるように、日頃から習慣化</li> <li>発信時は、「意味」の説明</li> <li>職員間でも雑談を含め、話をする機会を持ち、共通理解や間違っただけの認識への早期発見へ</li> </ul>	3～6ヶ月
2	36～38	まだまだ職員目線になり、「制限」をかけようとしてしまったり等、なぜ、そういった行動になるのかに努める意識が不足していると感じる。その場での意向だけであり、潜在化しているものへの理解も不足していると感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用者様にとって」を、まずは1番に考えられるようにする</li> <li>過去の生活歴の把握、趣味嗜好、性格等、担当者を中心に把握し、「分析」できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から、会議以外でも、雑談の中で、考え方のブレがないか確認し、ブレている時は、修正をかける</li> <li>それは、利用者様にとっては、どうか？を聞くようにする</li> <li>担当者がまずは把握し、モニタリングの際、なぜ、そういった課題があるのか等を考える</li> </ul>	3～6ヶ月
3	43	テープ付きオムツを使用している方はいないが、現在の自立度から考えても、パット使用者や失禁率は高いと感じている	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは失禁の軽減、トイレで排泄できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排泄リズムを把握し、リハビリパンツの方を布パンツへ移行できるようにする</li> <li>失禁するのがあたり前ではないという考え方を定期的に伝えていく</li> <li>排泄案内に断れるケース等、うまくいかない理由を、職位間で情報共有し、改善を目指す</li> </ul>	3～6ヶ月
4	7	当事業所は他事業所の巡回チェックでは、まずまず良い評価を得ている。しかし、「不適切」なグレーなゾーンは決めごとまではいかなくても、常に自分自身や互いに振り返る機会が必要と感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら、「不適切ケア」に振り返ることができる</li> <li>職員同士で振り返ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不適切なケアに至る要因を探る</li> <li>不適切なケアのチェックシートを毎月提出しており、ただの作業にならぬよう、呼びかけ、内容を確認し、職員の変化に気づくようにする</li> <li>不適切ケア以外にも、日々から振り返る癖をつける</li> </ul>	3～6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。